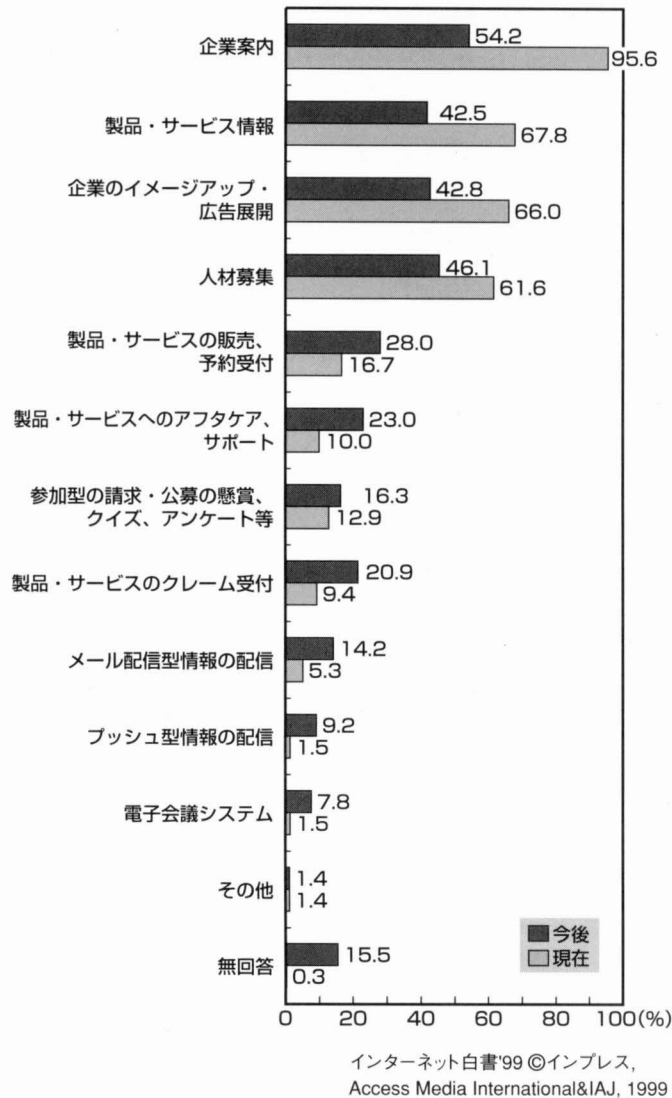


第1章 通販

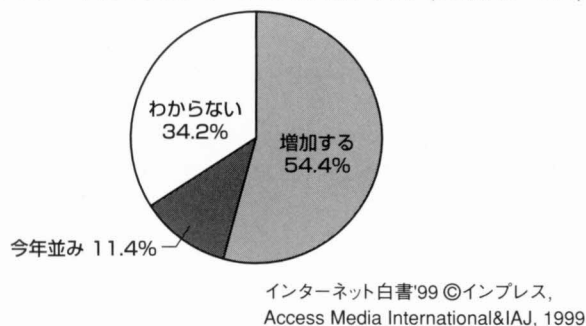
市場予測

2003年には消費者向けEC3兆円規模に

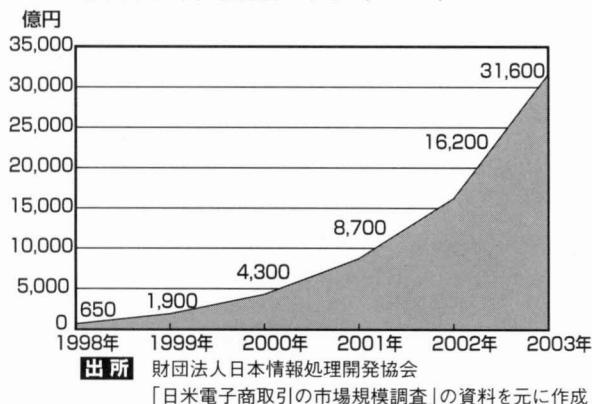
資料3-1-7 ウェブによる情報発信の内容(現在・今後)
(企業、N=683)



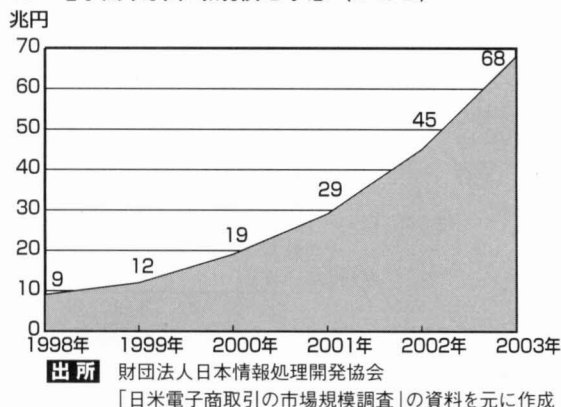
資料3-1-8 今後のウェブサイトによる売上予想(企業、N=144)



資料3-1-9 電子商取引市場規模と予想 (B to C)



資料3-1-10 電子商取引市場規模と予想 (B to B)



解説

今後の課題

成長が確実視されるインターネット通販市場であるが、そこにはまだ多くの課題も残されている。これを「マーケットやインフラの側面」と「ビジネスノウハウ面」からまとめてみると、マーケットやインフラ面では

- ・インターネットユーザーにおける女性比率の向上(既存通販ではユーザーの85%が女性であり、女性層の吸引が市場拡大の鍵)
- ・オンラインでの確実な決済方法の確立
- ・信用のあるショップの育成と市場全体の健全化の確保

等が望まれるところだ。

またビジネスノウハウの面では、既存の小売業、あるいは通販とは異なる特有のノウハウのマスターが不可欠である。例えばつぎのような点となる。

- ・インターネット適性を活かしたマーチャライジングノウハウの習得
- ・リピーター確保のノウハウの習得
- ・ネットプレゼンス(インターネット上での認知度)向上ノウハウの習得
- ・関連購買等の技術開発による客単価アップの方策の見極め
- ・インターネットの双方向性を活かした、顧客との関係づくりのノウハウの習得

なお、インターネット通販では単に商品だけを販売するショップより、様々なコミュニティー機能(店と客、あるいは客同士の対話や相談など)や雑誌に匹敵する情報提供機能を具備したショップの成長性が著しい。こうしたコミュニティー&コマースのノウハウ開発等も今後の大きな課題である

(三石玲子 エムアンドエム研究所代表)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp